日新聞　第3586号　（第三種郵便物認可）

会員証と通信教材配付

広島連合会第１回資質向上講習会

社団法人広島県配置医薬品連合会（小畠恒治会長）の平成二十二年度第一回資質向上薬事講習会は、六月十日午前九時から広島市中区加古町三―三の広島市文化交流会館（旧厚生年金会館）で広島県健康福祉局保健医療部薬務課、同県環境県民局消費生活課の協力を得て開かれ、二百六十三名が参加した。また席上、高齢での登録販売者試験合格者の表彰式もおこなった。

門那良三副会長の司会で進行。小畠恒治会長が開会あいさつを述べたあと、新規従事者に関する事項として「売薬の歴史」をプロジェクターを使いながら薬日新聞社資料を使用して講義した。

次に、薬務課麻薬担当官が、『ダメ。ゼッタイ。』運動」について説明、同運動の国連支援募金も実施した。

ここで表彰式を開催。昨年、高齢でありながらも登録販売者試験に合格した、松岡善一氏と森哲英氏に敬意を表し、表彰状と記念品の神農像を贈った。

来賓祝辞では、顧問の檜山俊宏県議会議員が受賞者に祝辞を述べるとともに、「信用第一に、県民の健康のために益々の配置薬の発展を希望する」と激励した。

また、仲本典正県薬務課長の祝辞を難波利元同課主任主査が代読した。

受賞者を代表して松岡氏が「このような賞を頂き感激している。皆さんの励みになれば幸いです」と謝辞を述べた。

再び講習に入り、午前十時二十分から行政関係事項について森木智男県薬務課専門員が、登録販売者制度に関しての新聞報道などをスライドを使って紹介しながら解説した。

ついで「特定商取引法」および具体的な消費者からの苦情実態について、江越健県消費生活課専門員が講義。その中では、悪質な業者に対しての指導などが報告された。

昼休憩をはさんで午後一時からの講習に先立ち、公務のため午前中の表彰式に間に合わなかった顧問の緒方直之県議会議員が駆け付け、受賞者に祝辞を述べるとともに、「役に立てることは遠慮なく何でも言ってほしい」と会支援を約束した。

講習では、「人体の働きと医薬品」について門那良三委員が講義。自身が数年前にPETがん検診を受けた時の画像をプロジェクターに投影しながら講義、受講者は興味深く聴いていた。

休憩をはさんで、資質向上・試験対策講師としてフマキラー㈱開発本部の杉浦正昭医学博士を招き、「主な医薬品とその作用」について、公衆衛生用薬を中心に解説を受けた。虫博士の講義は予定時間を大幅にオーバーする熱の入った講義で、蚊やゴキブリの生態など、とても面白い内容に全員が聴き入っていた。

途中の休憩時間を利用して恒例の車椅子募金をつのった後、「医薬品に共通する特性と基本的な知識」について金田和宏薬剤師が解説。

続いて「医薬品の適正使用と安全対策」について小池一正薬剤師が解説した。

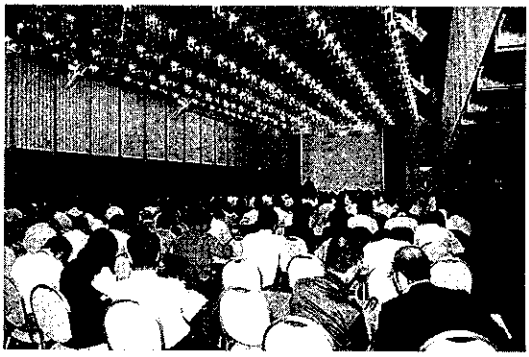
全講義終了後、午後五時四十分から確認テストを実施し、解き終えた者から提出して退席とし、午後六時二十分に全員が退席、終了した。

同会の一定水準三十時間研修は、資質向上対策委員会（委員長：小池一正薬剤師、副委員長：金田和宏薬剤師）が、行政の指導・協力のもと全て独自に実施し、昨年度と同様に座学十六時間（六月・十月の八時間が二回）＋通信教育三カ月（十四時間が一回）とする。十月末には受講証明書を郵送し、十一月中旬には申請書類に証明書を添付して一括受付（補習研修有り。通信教育不合格者は追試験有り）の予定としている。また今回の講習会では、平成二十二年度会員証と通信教育テキストを配付した。通信教育の回答用紙は九月十五日までに事務局に返信することとしている。

今回の講習会内容についてアンケートを実施したところ、全体を通して興味深い内容だったと好評だった。

なお、同会では、七月三十一日～八月一日にYMCAの研修センターを利用して登録販売者試験受験前集中講座（本講習補習も兼ねる）を予定している（担当・門那良三研修委員長）。

また、午前中の休憩時間を利用して県薬務課係官三名と担当役員が登録販売者試験の受験受付を行ない、三十九名を受け付けた。



263名が参加した広島連合会の講習会

高齢の松岡氏㈲と森氏㈲の試験合格に敬意を表し会表彰